

No.8 候補問題の操作手順と時間想定		
	想定時間合計 27分	
試験前の操作	10分	支給材料の確認 器具の配置
試験時間	40分	操作手順
アウトレットボックス	ゴムブッシング取付け	ゴムブッシング4個にニッパーで十字に切込みを入れる 凹んでいる方を表にしてボックスの各穴にゴムブッシングをはめ込む
部品とケーブルの取付け	端子台(6個口)	VVF-1.6-2Cケーブル1本(1100mm)を長さ350mmに3等分する 3本のケーブル(350mm)の外装を50mm、被覆を約10mmストリップする それぞれのケーブルを端子台に挟み、ネジを締める イ、ロと記載したマスキングテープをダブルクリップにはりつけ、ケーブルの外装に挟む
引掛けシーリング		もう1本のVVF-1.6-2C(1100mm)をストリップゲージに合わせて外装をストリップする 同じくストリップゲージに合わせて被覆をストリップする ストリップ長さと接地側を確認して、白線を接地側に、黒線を反対側に差し込む 裏から除いて心線が見えいないことを確認する 引掛けシーリングの中央から350mmの長さで切断する
ランプレ		残ったケーブル(750mm)の外装を45mm、被覆を20mmストリップする 被覆の端から2-3mmの心線をストリッパーの先端で挟み下向きに直角に曲げる 工具を裏返し、片方の心線の端をつまんで手前で曲げ、の字をつくる 同様に、もう1本の方ものの字にする 白線がW側(ソケット側)にくるようにして、の字の部分がランプレセプタクルのネジに重なるように調整する ドライバーでランプレセプタクルのねじをはずす ケーブルをランプレセプタクルの穴から下へ通す 外したネジをの字にはめて、指で押さえながらドライバーで押さえつつ回してネジを半分程度締める 反対側についても同じようにしてネジを締める ネジが被覆を噛み込んでいないことを確認して、両方のネジを固く締める ランプレセプタクルの中心から引掛けシーリングのケーブルと同じ長さ(350mm)に切断する
電源ケーブル		VVR 2.0-2C(300mm)の片方を折り曲げ、反対側の外装を100mm、被覆を20mmストリップする 折り曲げた部分を真っ直ぐにし、ボックスに挿入し、外装の端で180度折り曲げる
接合部分のケーブルの処理	施工省略	残ったVVF 1.6-2C(400mm)の外装100mm、被覆20mmストリップする ストリップした電線をボックスに挿入し、外装の端で180度折り曲げる 引掛けシーリングを取り付けたケーブルの外装100mm、被覆20mmをストリップし、ボックスに挿入し、外装の端で180度折り曲げる ランプレセプタクルを取り付けたケーブルの外装100mm、被覆20mmをストリップし、ボックスに挿入し、外装の端で180度折り曲げる 端子台を取り付けた3本のケーブルの外装100mm、被覆20mmをストリップし、外装の端で180度折り曲げる
ケーブルの結線	差込コネクタ	それぞれのケーブルの心線をベンチ幅(1.2 mm)で切断する 電源、引掛けシーリング、ランプレセプタクルおよび施工省略の白線をそれぞれ立ち上げ、4本用の差込コネクターに挿入する 電源の黒線および端子台の黒線3本をそれぞれ立ち上げ、4本用の差込コネクターに挿入する
	リングスリーブ	端子台の白線と引掛けシーリングの黒線をそれぞれ立ち上げる 圧着工具の○の位置にリングスリーブ小を挟み、1.6mmの電線2本をスリーブにはめる スリーブを圧着後、○マークを確認する 端子台の白線とランプレセプタクルの黒線をそれぞれ立ち上げる 圧着工具の○の位置にリングスリーブ小を挟み、1.6mmの電線2本をスリーブにはめる スリーブを圧着後、○マークを確認する 残りの電線(端子台ハの白線と施工省略の黒線)をそれぞれ立ち上げる 圧着工具の○の位置にリングスリーブ小を挟み、1.6mmの電線2本をスリーブにはめる スリーブを圧着後、○マークを確認する スリーブ(合計3個)の上端からはみ出ている心線をベンチで切断する ダブルクリップをはずす